

ヒトの機能調節 B

(Human Physiology B)

担当教員名:教授 谷口 隆之、准教授 北村 佳久

【概要】

薬学生として病態時の人体機能変化ならびに薬物作用を理解するためには、また薬物および生理活性物質の人体に与える影響を重視する薬学において、まずヒト正常時における生理機能およびその調節機構を正確に把握することが必須である。ヒトの機能調節Bでは人体解剖学「ヒトの成り立ち」の知識に基づき、呼吸器系、代謝・内分泌系、泌尿器系、感覚器系について、病態生理をまじえながら講義を行なう。

【授業の一般目標】

ヒトの個体・器官・細胞レベルで理解するための生理機能、さらにホメオスタシス（恒常性）の維持機構を個体レベルで理解するための生体のダイナミックな調節機構に関する基本的知識および態度を修得する。

【成績評価方法・基準】 定期試験（後期試験）等で評価する。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

愛学館 6 階病態生理学教室の教授室あるいは情報処理室まで来てください。
